

終日賑わう主要駅から隣接した商業施設で、利用客も多く、バイクファンのかか、待ち行列大勢の人にもカワサキ車とバイクのある豊かなライフスタイルを魅力的にPRした。主な展示車はVUELシス1000 SEVW800ストリートVインジナズ16RV同ZX10RVZ400VZ900RS。

KCBM 4月は愛媛で

全国で人気を集めるカワサキコーヒープレイクミートイング(KCBM)の今年第3回目は愛媛県松山市で開催される。会場は松山城公園。日時：2月28日(日)10時~12時。事前申し込み・参加料不要。会場でKawaシヤンレセントキヤンバー登録者KCBMオリジナルステッカーをプレゼント。また、KCBM21バージョンオリジナルマグカップも贈呈する。四国での開催は7年ぶり。
なお、2月24日(日)には岡山国際サーキットで開催される。

ゆとりのある作りと脱着のしやすさを配した、中編内蔵のライディングブルゾン。フロントファスナー部分にユニバーサルデザインのパーツを採用し、膝下にマチを入れ、袖ファスナーを長くするなどを、ウェアの着脱性を高めている。落ち着いたデザインにより年齢を問わず着用できるライディングウェア。価格は2万7500円。

Honda X-DEGN ER ゴートスケルゼー ジャケッ

デクレーターのゴラボレザージャケッ。しなやかに丈夫なゴートスケンを使用し、背中にはアクションブーツを採用する。肩、肩回りの可動域を増やし着用時の窮屈感を低減している。価格は3万8000円。

Honda ソフトシェ ルライディンググローブ ディ

前腕、後腕にコンシールファスナー、ベンチレーションを装備。街乗りからツーリングまで快適なライディングをサポート。簡便の調節が可能。フィードは調整可能。価格は1万6000円。

RHEOS EXCE EDMIYAGI

OGK KABUTOの人氣ヘルメットEXCEEDをベースに高城光氏ヘルメットデザインを採用。3月1日から受注し出荷は5月を予定。レッドとブラックのカラーの色。予約多数の場合は5月からの出荷を予定。価格は3万5000円。

日本におけるADIVA製品の流通経路変更について

伊アディバ社、日本での販売をEKAに

(2019.03)

私たち伊ADIVA S.R.L. (伊アディバ社)は1月末を以って、それまで日本市場で同社製品を販売してきたADIVA ㈱ (アディバ日本)を流通経路から除外いたしました。今後、日本における製品の販売は㈱イーケーエー (EKA)を通じて行なってまいります。

私たち伊アディバ社は特許を取得している開閉式ルーフなどが特徴のスクーターメーカーとして1996年にイタリアのモンテサルキオで設立。2002年には生産工場をイタリアから台湾の高雄市に移設し、現在もアディバ台湾で生産を行っています。

アディバのグローバルビジネスの本社は、現

在も私たち伊アディバ社であり、商標権を保有し製品のすべての設計開発は伊アディバ社で管理しております。また、主要生産拠点についても2002年以来、生産工場はアディバ台湾が所管し、同時にアジア地域での製品販売における権利も保有する総代理店で、各国の販売業者や輸入業者と販売代理店契約を締結したうえで、アジア各国に販売網を築いているもので、このうちアディバ日本は2015年よりアディバ台湾傘下の販売代理店でした。

しかし、2017年下半年から2018年末までの間、アディバ日本は伊アディバ社とアディバ台湾との契約に違反した事業活動を展開したこ

とで、私たちは今後のアディバ日本を通じた商品販売を中止し、今後の日本におけるアディバ製品はEKAを通じて販売してまいります。

アディバ日本はアディバの世界本社や世界本社機能などを主張していますが、私たち伊アディバ社とアディバ台湾は、これを全面否定。現在も伊アディバ社が商標権を保有し、生産もアディバ台湾が所管し製造を行っています。また、電動スクーターVX1はADIVA製品ではなく、当社がVX1をADIVAブランドとして販売することはありません。



株式会社 イーケーエー

〒340-0834 埼玉県八潮市大曽根 49-7
tel: 048-994-1881 fax: 048-994-1882
代表取締役 マチョーフアン・大宅高橋 勝



adiva
advanced vehicles
ADIVA S.R.L.
Via Rodio Zapp PIP SNC, Montesarchio (BN) 82016
CEO Piotr Stec

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社

〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 電話03(3436)1311
振替口座 00190-7-38825番
代表取締役 木村玄一

大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂
島2-2-23 白雲ビル 電話06(6341)3997

週刊・毎週金曜日発行

購読料 1部 300円+税
1年 14,000円+税

www.nirin.co.jp

Amazonの
迅速な配送で
お客様の
満足度アップ



Amazonで
販売してみませんか?

amazon

ター改ざん!
流通歴半年以内の
出品できません。
自のルールです。

ARAI
AUCTION
GROUP

事業に

ニットが搭載さ
バンクの移動体
器が、車
線や走行距離・
テリ・残量など
リアルタイムに
することが可能
シタとして、車
況などのデータ
両開発に活かす
充電インフラの
効果的な運用
方法などを検
討していくと
いう。

セレモニー
には、ホンダ
モーターサイ
クルジャパン
(HJM)加藤
千明社長、
本田技研工業
二輪事業本部
事業企画部三
原大樹部長、
沖繩ホンダ小
林久夫社長、

松良文字代表取締役らをは
じめ、地元宮古島市から
下地敏彦市長も出席した。
セレモニーであいまつし
た加藤社長は「ホンダは今
回、この宮古カレンについ
てハード、ソフトの両面で
準備させていたいただいた。宮



左より沖繩ホンダ小林久夫社長、本田技研工業二輪事業本部事業企画部三原大樹部長、HJM加藤千明社長、ソフトバンク小菅良宏常務執行役員、ソフトバンクシステム情報科学博士山口典男氏、カレンスタイル松良文字代表取締役

古島の特徴を味わってもち
うために専用デザインのP
CXエレクトリックを20
台、70個ほどのバッテリー
パックと充電器を配備させ
ていただき、ヘルメット、
ウェア、グローブなども用
意させていたいただいた。ソフ
ト面では車両のメンテナンス
をさせていただく保守店、

万が一の際のロードサービ
スなども配備させていただ
いた。今回のレンタルによ
る素晴らしい体験を通し
て、宮古島のファン、宮古
カレンのファンが増えてい
くことを期待して
いる」と述べた。
宮古カレンは電動二輪車
PCXエレクトリックをレ
ンタルするサービスで、静
かで排ガスを発しない電動
バイクに乗り、豊かで特色
ある宮古島の自然を五感で
体験できるもので、単なる
移動手段としてのレンタル
ではなく、新たなアクティ
ビティ、観光レジャーの
1つとしている。PCXエ



PCXエレクトリックにまたがる
下地敏彦宮古島市長

はじめ、池間大
橋、来間大橋
と3つの橋が
かかっってお
り、真っ青な
海の上をバイ
クで渡るとき
は空を飛ぶよ
うな感覚が味
わえるとい
う。
用意される
PCXエレ
ク

店舗は用意されず島内に
ある3つのホテルに車両は
常設され、この他4つのホ
テルに配車が可能。パッテ
リーについては、地元り翁

トリックには、白い車体に
サンゴのペイントがあしら
われており、スクリーンに
も独特なブルーグラフィッ
クが入り、車体横には「M
IYAKO Karen」
のロゴが入る。シート下
にはバッテリーパック2つが
取まるPCXエレクトリック
クだが、車体後部に収納用
のトップケースを装備。車
体内にはソフトバンクの
通信ユニットが組み込まれ
ている。

伊アディバ社

日本での販売をEKAに

伊ADIVA S・R・
L(伊アディバ社は1月
末をもって、それまで日本
市場で同社製品を販売して
きたADIVA(伊アディ
バ日本)を流通経路から除
外すると発表した。今後、
日本における製品の販売は
伊アディバ社(EKA)
を通じて行うとしている。
伊アディバ社は特許を取
得している開閉式ルーフト
などの特徴を持つスクータ
ーメーカーとして1996年
にイタリアのモンテサルキ
オで設立。02年には生産工
場をイタリアから台湾の高
雄市に移設し、現在もアデ
イバ台湾で生産。
アディバのグローバルビ
ジネスの本社は、現在も伊
タリヤにある。

ながら、ついでに交換する
ことが可能で充電の時間な
どはかからずに観光を続け
ることができる。
1日のレンタル料金は1
万2000円(税別、車両のみ)
表は「私共は宮古カレンと
いう電動バイクを使った宮
古島を体験いただく新し
いサービスを提供する事業
主体となる。環境負荷が少
ない」と強調する。
製品の購入前後の相談や製
品の修理受付、YouTube
番組「Ciao! La
mbretta(毎週土曜
日配信)」の公開収録など

